

「公私ミックス」に関する政策論議に向けて 生保労連は各種の取組み・提言を行っていきます！

★国民のライフサイクル・ライフスタイルが多様化する中で、生保産業はこれまで以上に役割発揮していくことが求められています。

今後も国民一人ひとりのニーズにきめ細かく対応した生活保障を提案できるよう、営業職員体制の一層の充実をめざしていきます！

★公的保障については厳しい社会保障財政を考慮すると、財源確保に向けた給付抑制などが避けられない状況にあるといえます。

社会保障制度改革の動向などを注視しながら、今後も持続可能で安心できる社会保障制度のあり方について検討を行っていきます！

★海外では、社会保障の給付抑制につながる施策とあわせて様々な自助努力支援策が講じられており、今や「公私ミックス」による生活保障システムの確立をめざす動きは「世界の潮流」であるといえます。

今後も、海外における「公私ミックス」政策の動向について研究・検討を行っていきます！

★国民の生活保障を支えていくためには、公的保障（社会保障）だけでなく、私的保障（民間保険）とあわせた公私一体での政策論議が必要です。

「公私ベストミックス」を通じた生活保障システムの確立に向けて、今後も各方面に対して提言を行っていきます！

国民一人ひとりが 安心のもてるくらしを 実現するために

「公私ベストミックス」による生活保障の確立に向けた私たちの提言



- 少子・高齢化の進展や働き方の変化などにより国民のライフサイクル・ライフスタイルが多様化する中で、一人ひとりのニーズに対応した生活保障の提供が求められています。
- 一方で、長寿化に伴う社会保障給付費の増大や現役世代の減少に伴う保険料収入の低下など、社会保障制度財政は先行き不透明な状況にあり、多くの人が公的保障の将来に不安を抱いています。
- このような中で、私たち生保労連は、持続可能な社会保障制度の構築をめざとともに、生保産業で働く者が多様なニーズにきめ細かく対応していくことを通じて、国民一人ひとりが安心のもてる生活保障を実現していきたいと考えています。

全国生命保険労働組合連合会（生保労連）

〒113-0034 東京都文京区湯島3-19-5 湯島三組坂ビル
TEL: 03 (3837) 2031 FAX: 03 (3837) 2037 URL:<http://www.liu.or.jp/>

(2012年8月発行)

全国生命保険労働組合連合会（生保労連）

「公私ベストミックス」を通じた 安心できる生活保障の実現に向けて

※「公私ベストミックス」とは、公的保障（社会保障）と私的保障（民間保険）の適切な組み合わせのことです。

私的保障（民間保険）

多様化する生保産業の役割発揮領域

社会環境の変化や国民のライフサイクル・ライフスタイルの変化に伴う世帯の多様化によって標準世帯^{*}が減る一方で、保障の内容や水準はこれまで以上に様々なバリエーションが求められています。

*夫婦と子ども2人で構成される世帯



遺族保障

- 家計に占める収入が高い「共働き妻」への対応
- 男女問わず「単身者」への対応
- 親の介護を担っている「介護者」への対応
- 子ども世帯に生活支援している「高齢者」への対応など

医療保障

- 「3大疾病」「先進医療の適用」等、高額の医療費が必要となるケースへの対応
- 医的リスクが高まる前の「若年者」、就業している「高齢者」、傷病手当金がない「国民健康保険加入者（自営業者等）」への対応など

老後保障

- 長寿化への対応
- 公的年金給付の抑制を想定した対応
- 金利・為替等、市場環境の変動を想定した対応
- 会社員・公務員より公的年金給付額が少ない「国民年金加入者」への対応など

介護保障

- 公的介護保険が適用されない「39歳以下の人」や、給付がほとんど受けられない「第2号被保険者（40～64歳の人）」への対応
- 「就業している高齢者（就労不能となるリスクに備える場合等）」への対応など

生保産業・営業職員の一層の役割発揮を！

- 多様化するニーズに対応した生活保障を提供していくためには、これまで以上にきめ細やかで丁寧なコンサルティングなど、営業職員をはじめとする生保産業で働く者一人ひとりの一層の役割発揮が求められています。



海外諸国の動向

★海外諸国では、公的保障の補完・上乗せ・代替の観点から、各保障分野において民間保険やサービスが活用されているとともに、政府による各種の税制支援策が講じられています。

事例① ドイツのリースタ一年金・リユールップ年金

ドイツでは、拠出時に所得控除などの税制優遇措置がはかられる個人年金制度が導入され、公的年金を一部代替しています。

事例② フランスの補足CMU^{*}

フランスでは、民間医療保険会社が保険料の一定割合を拠出し、一定所得以下の人の民間医療保険加入をサポートしています。

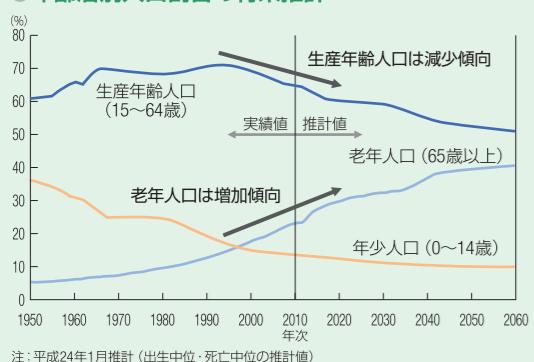
*CMU…普遍的疾病給付（La couverture maladie universelle）の略称

公的保障（社会保障）

社会保障制度を取り巻く厳しい情勢

わが国の社会保障制度は、安心のもてるくらしを実現していく上でさらなる機能発揮が求められていますが、高齢化の進展によって社会保障給付費が増大する一方、それを支える現役世代の数は減少傾向にあり、厳しい財政状況にあります。

年齢層別人口割合の将来推計



社会保障給付費の推移



1人の高齢者を支える現役世代の数は、かつての「胴上げ型（たくさんの現役世代）」から現在の「騎馬戦型（3人の現役世代）」、そして、将来的には「肩車型（1.2人の現役世代）」に減少することが予想されており、財政的な不安はますます高まっています。

持続可能で安心のもてる社会保障制度づくりを！

- 少子・高齢化の進行や人口減少社会の到来により、社会保障制度の存立基盤が揺らぎ、国民の不安は一層大きくなっています。



- 持続可能で安心できる社会保障制度の実現に向けて、セーフティネットにふさわしい保障を確保しながら、給付の重点化・効率化なども視野に入れた財政の安定化をはかっていく必要があります。

海外諸国の動向

★海外諸国でも社会保障財政は厳しい状況にあり、公的年金制度を中心に各保障分野で給付抑制に向けた施策が講じられています。

事例① 公的年金の支給開始年齢の引き上げ

ドイツ・イギリス・アメリカでは、年金給付の抑制を目的とした65歳以降の支給開始年齢引き上げが決定しています。

事例② フランスの医療費抑制策

フランスでは、医療費抑制を目的として2004年にかかりつけ医の指定が義務化され、2005年には窓口定額負担が課されるようになりました。

私たちの主張

●「公私ミニックス」による生活保障の確立をめざす動きは「世界の潮流」!!
●社会保障制度の改革論議だけでは不十分。「公私ミニックス」に関する政策論議を!!

